



これからの都市緑化に大切なこと。

安全。安心。バリアフリー。

バイオバリアーは、透水性・通気性のある
裁断・折り曲げ自由のポリプロピレン不織布に、
植物の根の成長をコントロールする成分を
含浸させたベレットを固着させたシート状の資材です。

Bio barrier®

製品名	規格(巾×長さ)	単位(ロール巻き)
バイオバリアー	約1M×約30M	重量約12kg
	約0.5M×約30M	重量約6kg



見えない緑化技術
植物の根茎調節資材
バイオバリアーが実現します

Bio barrier®

バリアフリー社会を支える。
都市緑化にかかせない。

「見えない緑化技術」

根茎調節資材

バイオバリアー

街路樹はそのままだと、根が伸びて舗道を持ち上げたり、
地下埋設物を傷つけてしまいます。

こうした補修には、かなりのコストがかかります。

根茎調節資材バイオバリアーを使えば、

そんな必要はありません。

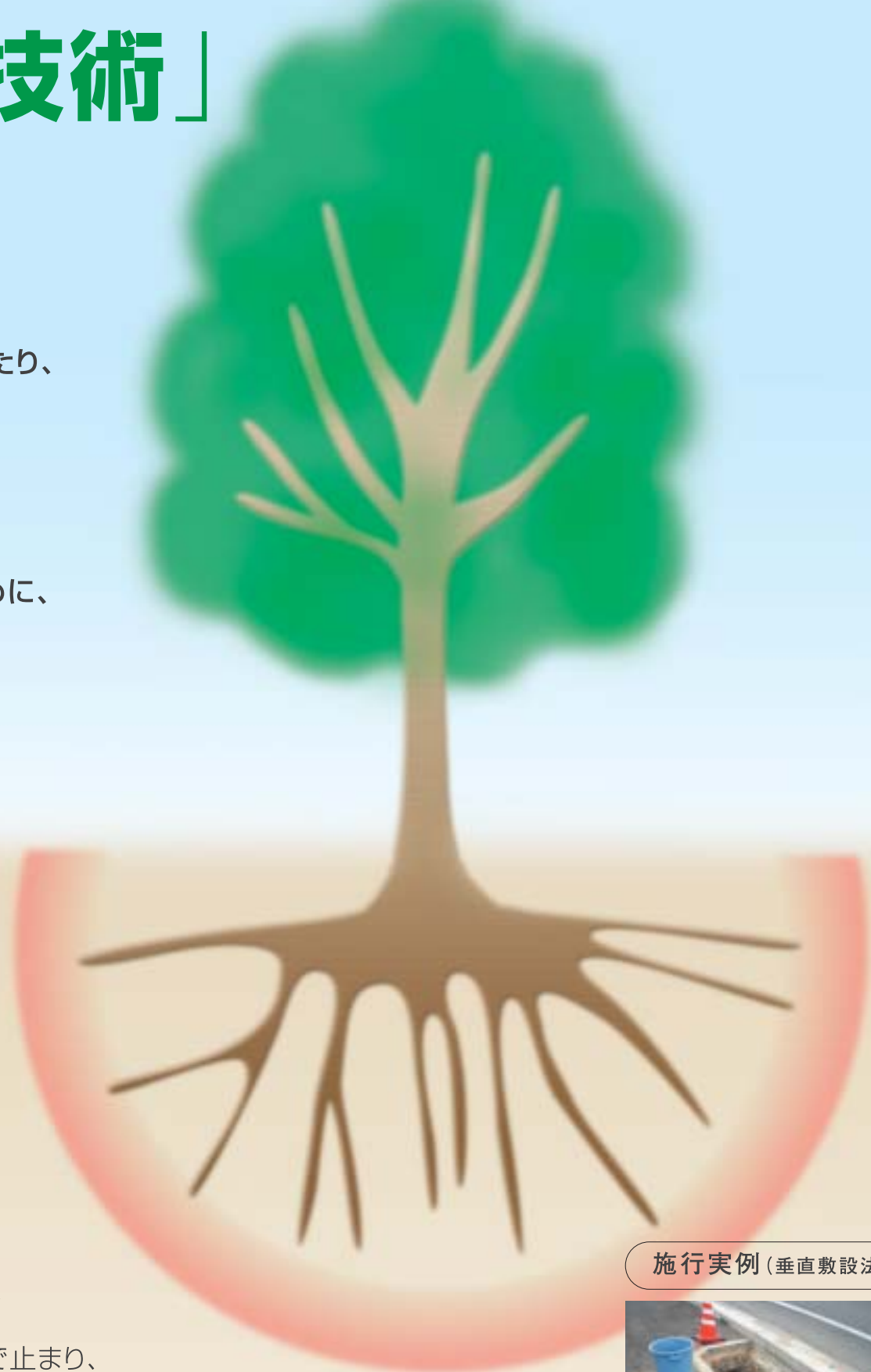
数十年後も、安全で、安心して通れる街路歩道のために、
見えないところで、バイオバリアーが活躍します。

- 高齢者、身体障害者や妊婦、けが人などを含め、あらゆる人々が歩道を移動しやすく、障害=バリアを感じることはない社会、バリアフリー化が求められています。

- 都市緑化を行うにあたって、街路樹が生育に伴い根も肥大し、平板舗装を押し上げ凹凸状となり、人や車いすの通行の妨げとなります。そのたびごとの補修作業は相当の手間と経費がかかります。

- 根茎調節資材〈バイオバリアー〉を地中に埋設すると、数十年にわたって植物の根の侵入を阻止します。植物の根はバイオバリアーの約10cm手前のところで止まり、舗装面を押し上げることがなくなります。

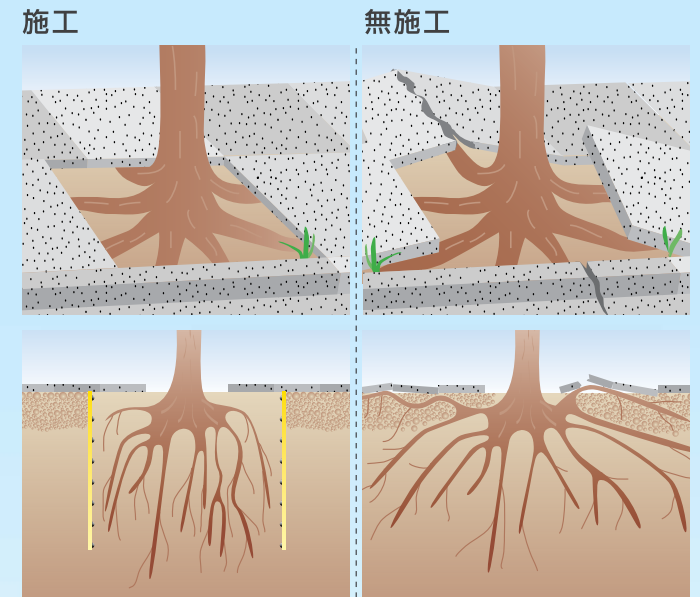
- 〈バイオバリアー〉はアメリカで開発され、日本においても20年間、都市計画・造園計画の「見えない緑化技術」として多くの実績をあげています。



街路樹の根が横に広がり、歩道の舗装をもちあげてしまった…。
地中の排水管や配管に根が入り込み、詰まってしまった…。
住宅地や道路、公園、ゴルフ場などで、意外と多く見られる、植物の根による構造物への障害。
こうしたトラブルを、緑や構造物を犠牲にすることなく、未然に解決するのが〈バイオバリアー〉です。

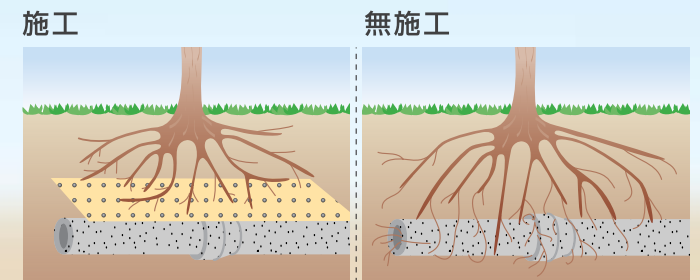
舗道面の保護

- バイオバリアーを垂直敷設した場合には、横方向に侵入する根茎を制御します。



地下埋設物の保護

- バイオバリアーを水平敷設した場合には、垂直に侵入する根茎を制御し、地下部の埋設物を根から守ります。



ルーピングの除去

- バイオバリアーをボックス内で使うと、ボックス内の根のルーピングをなくす効果があります。



施行実例 (垂直敷設法)



1・緩効性肥料とピートモスを施す

2・土が入るまで上部を押さえる

3・土をならす

4・完成